



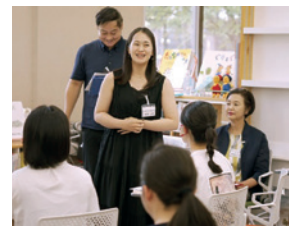
2023年度 総合子ども学研究所事業報告

「現代子ども学」公開講座の開催

2023年7月19日（水）、「めっきらもっきらどおんどん」、「ともだちシリーズ」他、多数の絵本を描かれているスロヴァキア在住の絵本作家 降矢なな先生が、絵本作家になったいきさつ、作家としての苦労話、絵本に対する思いなど、絵本作家の視点から絵本の魅力について語っていただきました。最後に発売前の新刊絵本「クリスマスマーケット」（福音館）の原画を見せてくださり、幸せな時間を過ごしました。



卒業生との保育共同研究会



2023年8月23日（水）、3回目となる今回はこれまでの研究会で出てきた保育課題から「気になる子どもの理解と関わり方」をテーマとして、愛隣幼稚園（千葉市）の木下勝世理事長と鈴木由歌園長を講師としてお招きしました。木下先生には「気になる子どもの多様な理解」と題した特別講話、鈴木先生には「保育実践の中での気になる子どもとの関わり」と題した実践事例を紹介していただきました。後半は現場での課題をグループで共有し、個々の子どもにとって最善の成長を支援していく方法について検討しました。

子育て支援に関する調査と外部団体へのボランティア参加

子育て支援実践者を対象としたインタビュー、外部団体の子育て支援事業への学生派遣を通して大学が行う子育て支援事業の課題と展望について検討し、年報にまとめました（本学HPの子ども学研究所「2023年度年報」参照）。

外部団体が行っている子育て支援事業に学生がボランティアとして参加、学生たちは子どもたちと一緒に製作や絵本の読み聞かせなどを行いました。



高大連携事業・高校生セミナーの開催

本学の教育資源を本学の学生だけでなく広く次世代に提供し、「保育職」への理解を深めてもらうことも重要な使命と考えています。そのために高等学校と連携協定を結び、質の高い保育者を育てていくことを目指して、高校に出向いての授業や本学において高校生対象の保育セミナーを行っています。

2023年度は新たに千葉県立鎌ケ谷西高等学校と連携し、現在17校と連携協定を結んでいます。



研究発表会

KEIAI ☆ FESTA にてポスターによる教員の研究発表、同会場にて親子対象のワークショップを開催しました。ポリ袋を使っののパラバルーンづくりやセンサーロボットづくりに多くの親子が参加していただきました。



SDGs 企画

廃棄本のリサイクル「本のSDGs」活動

利用しなくなった図書館や教職員の図書を廃棄せず、必要な人たち同士でシェアする「本のSDGs」活動。2022年のKEIAI ☆フェスタから始まった廃棄本のリサイクル活動を新校舎でも引き続き行っています。どなたでも持ち帰ることができます。



廃棄本の棚は新教育棟「えほんのもり」近くに設置

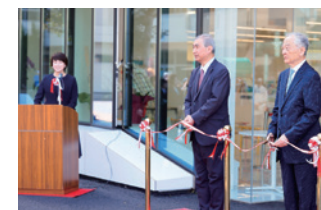
敬愛短期大学

総合子ども学研究所 ニュースレター Vol. 12



学長メッセージ

短大移転・新教育棟完成のご挨拶



学園創立100周年事業の一環として稲毛キャンパスの新教育棟建設工事が進められていましたが、おかげさまで本年2月に新教育棟が竣工となりました。3月30日（土）には竣工完成記念のオープニングイベントが開催され、好天にも恵まれ、近隣住民の方々や学園の教職員、学生をはじめ多くの関係者が稲毛キャンパスに集い、学園の発展を祝うメモリアルな一日となりました。新教育棟の完成に伴い、本学は佐倉キャンパスから稲毛キャンパスに移転、校名も新年度から「敬愛短期大学」に変更となりました。1987（昭和62）年以来、37年ぶりに稲毛キャンパスに戻りましたが、キャンパスの所在する稲毛の街は、千葉市内でも有数の文教地区として知られています。交通至便な立地であることも含めて、リニューアルされた稲毛キャンパスの教育環境を生かしながら、社会の発展を支える優秀な保育人材の養成に取り組んでまいります。

新教育棟（新1号館／地上9階、地下1階）では7階を短大専用のフロアとして教室が配置され、保育実習室は階下の6階に置かれています。館内には、グループワークなどで使われる「クリエイティブラウンジ」を各所に設け、何処でもICT機器を駆使できる空間スペースを確保していま

す。また、1階フロアには佐倉キャンパスから引き継いだ「えほんのもり」を整備し、絵本の読み聞かせを行うために1万冊を超える絵本が配架されました。今後は地域の子育て支援の拠点として、様々なイベントが行われる予定です。

総合子ども学研究所は、子ども学の観点から地域貢献を実践しながら研究をすすめる短期大学独自の研究所として、キャンパス移転後も研究活動を継続します。2024年度の研究テーマは「子どもとSDGs」です。「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標の実現に向けて、子育て支援事業、卒業生との共同研究、高大接続・連携等を通して、地域連携・社会貢献に寄与できるよう実践研究をすすめていく所存です。今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



敬愛大学・短期大学
学長 中山 幸夫



敬天愛人

本学は「敬天愛人」を建学の精神として掲げる全国でただひとつの学園。教育者にふさわしい人間性の陶冶を目指しています。

敬愛短期大学 総合子ども学研究所 ニュースレター Vol. 12

発行日：2024年7月1日

<http://www.chibakeiai.ac.jp>

〒263-8588 千葉県千葉市稲毛区穴川 1-5-21

TEL. 043-251-6363（代表）





2024年度 敬愛短期大学の講座案内



副学長 吉村真理子（教授）
発達心理学 / 教育相談

保育者には、子どもたちが自分の思いに気づき、伝え合う体験を見守り支えていくことや、保護者の子育てを応援する役割が求められています。保育に興味を持っていただいた皆さんと、体験型の学び合いをしたいと思います。



このような講座を実施します

- ◆ グループエンカウンター
- ◆ 出会いのエクササイズ
- ◆ 子どもの育ちと絵本
- ◆ 子育て支援
- ◆ 乳幼児の心理
- ◆ どのらない子育て



新田 司（教授）
教育学 / 児童虐待

教育とは何か、家族とは何か、一緒に考えていきたいと思います。



このような講座を実施します

- ◆ 教育保育全般
- ◆ 児童虐待
- ◆ 家族のあり方
- ◆ 自己理解



久保 健夫（准教授）
美術教育 / 絵本 / 絵画（油画）

幼児教育・保育に基づく造形表現と絵本などの環境について考えます。



このような講座を実施します

- ◆ 幼児教育
- ◆ 保育と絵本等の環境と造形表現



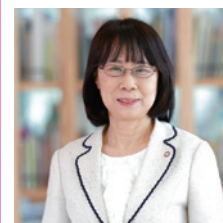
酒井 基宏（専任講師）
保育学 / 児童文化

約 20 年の保育経験とパネルシアター作家の経験から、保育者の専門性を一緒に高めてまいりましょう。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ パネルシアター（児童文化）
- ◆ 子育て支援



小熊 真弓（特任講師）
保育学

幼稚園、保育所、こども園での保育経験をもとに、子どもの主体性を大切にしたい保育についてお話しします。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ 園内研修
- ◆ 子育て支援



阿部 孝志（准教授）
社会福祉論 / 社会学

福祉を必要とする児童などについて、様々な観点から考えられる支援をお伝えします。



このような講座を実施します

- ◆ 社会福祉について
- ◆ 社会と児童福祉について



大野 雄子（教授）
学校教育臨床

創造力を豊かにするには、五感を通じた経験や想像力、フロー体験を大切にすること。まずは皆さんから心を耕してみましょう。



このような講座を実施します

- ◆ 手袋人形の制作とあそび
- ◆ 乳幼児の発達心理
- ◆ 五感と創造性
- ◆ 子育て相談
- ◆ ファンタジーとユング心理学
- ◆ MBTI® グループ体験（検査代有料）



清水 一巳（教授）
体育学 / スポーツ社会学

からだ一つで楽しめる遊びや身体が広がる体験について考えていきます。



このような講座を実施します

- ◆ 運動あそび
- ◆ 自然あそび
- ◆ パラスポーツ
- ◆ レクリエーションスポーツ



藤川 志つ子（准教授）
臨床心理学 / 特別支援教育 / 乳幼児発達心理学

公立保育園での経験と心理士としての経験を活かして実践的な講座を行います。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ 特別支援教育、障害児保育
- ◆ 乳幼児の環境
- ◆ 子育て支援
- ◆ 園内研修



二見 美千代（特任講師）
音楽表現 / 幼児教育 / 音楽教育学

音楽を表現する楽しさや、音楽を通じた子どもとの関わり方について、実践を交えながら行います。



このような講座を実施します

- ◆ リトミック
- ◆ 音楽遊び
- ◆ 弾き歌い



齋藤 めぐみ（教授）
保育 / 人間科学

元幼稚園教諭の経験を生かした保育、保育者についてのお話や絵本、子どもの健康づくりについてお話ししたいと思います。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ 絵本
- ◆ 遊びの大切さ
- ◆ 健康作り冊子作成



池田 純子（准教授）
乳児保育 / 乳幼児の表現

現場での保育経験をもとに、楽しいと思える保育を考えています。一緒に学べる講座にしていきたい思います。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ 乳児保育
- ◆ 子どもと造形表現



佐久間 敦子（AO/ 大学客員教授）
国語教育（高大連携担当）

聞く・話す・読む・書く心を伝える・受け止める「言葉」の大切さを考えませんか？



このような講座を実施します

- ◆ 文章表現・口頭表現
- ◆ 紙芝居の演じ方
- ◆ 思春期の子どもたち（親・教師の対応）



出前講座の活用依頼方法

教育・保育の人材を養成する短大として地域と共に歩んできた敬愛短期大学では、これまで地域の文化活動、子育て支援、学校教育支援の一環として、出前講座、研修会への講師派遣を行ってきました。近年は高等学校の「探求学習」への支援などの依頼も増えており、心理学、幼児教育、保育の分野はもとより、教職員に対する研修会などのご要望にお応えできる分野が多くあります。幼児から高齢者まで幅広い活動の支援、小中学校のキャリア教育、職業体験学習にも活用していただきたく、本学の専任教員を紹介いたします。

詳しい内容や日程に関して、下記担当までお気軽にご相談ください。またお申し込みの際は QR コードより必要事項を記載して担当宛にお送りください。



問い合わせ先：
敬愛短期大学 総合子ども学研究所 担当：佐久間・堀
T E L：043-251-6363
F A X：043-251-6407
メール：kodomogaku@u-keiai.ac.jp

